

中学 1 年生（小学校の復習＋過去形まで）

小学校英語（教科化）との接続が重視され、序盤は be 動詞や一般動詞の丁寧な定着が図られますが、後半の進度は早くなっています。

- be 動詞・一般動詞（現在形・肯定/否定/疑問文）
- 代名詞（I, my, me, mine などの格変化）
- 疑問詞（What, Who, When, Where, How, Whose などを用いた疑問文）
- 複数形（名詞の s/es）
- 命令文
- 助動詞 can（可能・許可）
- 現在進行形（be + -ing）
- 過去形（be 動詞・一般動詞の規則変化・不規則変化）
- 感嘆文（How ~!, What ~!）※教科書により中 2 の場合もあり

中学 2 年生（表現の幅を広げる・受動態の早期化）

時制の概念が広がり（未来）、不定詞・動名詞といった「準動詞」が登場します。また、以前は中 3 内容だった「受け身（受動態）」が中 2 に移行しています。

- 未来表現（be going to / will）
- 助動詞（must, may, should, have to など）
- 接続詞（that, if, because, when, while など）
- 不定詞（名詞的・副詞的・形容詞的用法）
- 動名詞（~ing）
- 文型 SVOO / SVOC（give A B / call A B など）
- 比較（比較級・最上級・原級 as~as）
- 受動態（be + 過去分詞）※旧課程では中 3
- There is / There are 構文

中学 3 年生（高校内容の一部移行・複雑な構文）

完了形や関係代名詞に加え、高校内容から降りてきた「仮定法」「現在完了進行形」が含まれ、構造が複雑な長文読解力が求められます。

- 現在完了形（完了・経験・継続）
- 現在完了進行形（have been -ing）【新課程で追加】
- 分詞の後置修飾（名詞を後ろから修飾する現在分詞・過去分詞）
- 関係代名詞（主格 who/which/that, 目的格 which/that/省略）※接触節含む
- 間接疑問文（I know where he lives. など）
- 原形不定詞（help/make/let + O + 原形など）【新課程で追加・重視】
- 仮定法（I wish I were ~, If I were you, I would ~ など）【新課程で追加】